



ニュースリリース 平成 24年 3月 9日

**㈱常陽銀行と㈱日本政策投資銀行が共同出資している
東日本大震災復興ファンドによる第1号案件の実行について**



株式会社常陽銀行(代表取締役頭取 寺門 一義)と株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長 橋本 徹、以下「DBJ」という。)が共同で出資する東日本大震災復興ファンド「いばらき絆投資事業有限責任組合」(以下「当ファンド」という。)は、本日、茨城県内の製造業者に対して当ファンドにおける1件目の投融資を実行いたしました。

当ファンドは、地域事情に精通するとともに被災地域に広範なネットワークを有する当行と投融資一体型の金融サービスを提供するDBJとの連携のもと、東日本大震災の被災企業に対する復興資金の供与を通じ、被災地域の早期復興支援を図るため平成23年9月に設立されました。

当社は自動車部品メーカーで、東日本大震災により工場が被災し操業停止状態になりましたが、平成23年12月までに生産を再開しております。

本件は、被災地域の雇用を守り、わが国の基幹産業である自動車産業のサプライチェーンを支える企業に震災関連資金を供与するものであり、当ファンドの取組趣旨に合致するものと判断し、融資を実施いたしました。

当行とDBJは、引き続き、当ファンドによる被災企業への投融資等を通じ、被災地域の復興を支援してまいります。

以上